

# 定 例 教 育 委 員 会 次 第

令和7年1月30日（木曜日）  
14時00分～

## 1 開 会

## 2 前回議事録の承認

## 3 教育長報告

教育長職務代理者の指名について

## 4 事務局報告（公開）

（1）令和6年11月定例県議会における主な質問事項について

（教育総務課）

（2）第32回全国中学校駅伝大会（結果）について

（保健体育課）

（3）男子75回・女子36回全国高等学校駅伝競走大会（結果）について

（保健体育課）

（4）第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会（結果）について

（保健体育課）

（5）次回定例教育委員会について

令和7年2月13日（木）10時00分～

（教育総務課）

## 5 議事（非公開）

付第33号議案

県議会に提出する教育関係議案に対する意見について（令和7年度当初予算案、  
条例議案）

（教育総務課）

付第34号議案

県議会に提出する教育関係議案に対する意見について（2月補正予算案）

（教育総務課）

付第 35 号議案

令和 7 年度佐賀県立学校教職員配当基準（案）について

（教職員課）

付第 36 号議案

令和 7 年度佐賀県市町立学校県費負担教職員配当基準（案）について

（教職員課）

付第 37 号議案

令和 6 年度佐賀県教育委員会表彰の被表彰者について

（学校教育課）

6 事務局報告（非公開）

（1）第 34 回児童生徒に対する教育長表彰について

（学校教育課）

（2）第 45 回善行児童生徒表彰について

（学校教育課）

（3）第 36 回全国産業教育フェア佐賀大会について

（学校教育課）

## 定例教育委員会議事録（案）

- 1 期 日 令和6年12月19日（木曜日）  
2 場 所 教育委員会室  
3 参集者 甲斐教育長、牟田委員、加藤委員、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、荒木委員、嘉村副教育長、松尾総体 2024 総括監、大橋危機管理・広報総括監、内田副教育長、川崎教育総務課長、近藤特別支援教育室長、岡教職員課長、山口学校教育課長、池田生徒支援室長、江口保健体育課長 ほか

4 会議次第 別紙のとおり

5 会議の経過

(1) 開 会 13時00分

(2) 前回議事録の承認

このことについて、甲斐教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

(3) 議事

【付第28号議案】

佐賀県教育委員会表彰規則の一部改正について

このことについて、議案書により川崎教育総務課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(川崎教育総務課長)

資料 28-2 をご覧いただきたい。佐賀県教育委員会表彰規則の一部改正について、まず、改正理由について説明する。この規則は、教育の振興の功績が特に顕著なもの等に対して県教育委員会が行う表彰の方法等を定める規則である。懲役及び禁錮を廃止し、これらに代えて拘禁刑を創設することなどを内容とする改正刑法が来年6月1日に施行されるため、関連規定を改正するものである。

具体的な内容については、資料 28-3 ページに新旧対照表を添付している。改正内容としては、表彰の欠格事由を定める第3条があり、文言を改正することになる。施行日については、法施行日と同様の令和7年6月1日としている。以上、ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛（裕）委員)

具体的に何が違うのか。

(川崎教育総務課長)

これまで懲役刑と禁錮刑があった。懲役刑が刑務所内での刑務作業義務あり、

禁錮刑が刑務作業義務なしということだが、実質的に区別する必要性が乏しいということから、懲役刑と禁錮刑に代えて拘禁刑が新設された。今回の改正については、それに伴う文言の改正である。

(牟田委員)

懲役は刑務所に入って作業をしないといけないが、禁錮は原則作業をしない。実際には何か作業をしていると思う。そうなると大きく変わらないため禁錮をやめようという話になっていると聞いていた。

#### 【付第 29 号議案】

教育職員免許状に関する規則の一部改正について

このことについて、議案書により岡教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(岡教職員課長)

資料 29-2 をご覧いただきたい。先ほど説明があった拘禁刑への名称変更に伴う改正である。教育職員免許状に関する規則に規定されている宣誓書の文言を改めるものである。なお、改正の施行期日は、刑法の一部改正と同日の令和 7 年 6 月 1 日となる。以上、ご審議をお願いしたい。

#### 【付第 30 号議案】

令和 7 年度佐賀県立特別支援学校幼稚部、高等部及び専攻科の募集定員について

このことについて、議案書により近藤特別支援教育室長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(近藤特別支援教育室長)

資料 30-2 をご覧いただきたい。こちらは令和 7 年度の幼稚部、高等部、専攻科の募集定員を一覧にしたものである。学校ごとに学部、学科等のそれぞれの募集定員を記載している。募集定員の合計については、幼稚部は若干人、高等部 376 人、専攻科は 8 人としている。

資料 30-3 をご覧いただきたい。こちらには令和 7・6 年度の学校毎の募集定員及び志願見込数の数を記載している。特別支援学校の高等部及び専攻科の募集定員の策定にあたっては、県内の公立中学校及び県立特別支援学校を対象に 9 月下旬に実施した進路希望調査の結果及び 11 月に中学校から志願先特別支援学校に提出があった入学志願許可願書の提出数に基づき志願見込者数を決定する。志願見込者数の全てが志願したとしても入学できるように募集定員を定めていくという考え方で、募集学級数と募集定員を設定している。また今後、県外からの転入など特別な事情により今後志願者が増える場合も対応できるよう余裕を持って策定している。

資料 30-4 をご覧いただきたい。令和 7 年度の高等部の志願見込者数の合計は 201 人となっている。令和 6 年度は 191 人であったため、10 人の増となっている。令和 7 年度の募集学級数については、67 学級であり、昨年度と比較して、5 学級の増と

なっている。募集定員数については、376人であり、昨年度と比較し、15人の増となっている。備考欄には各校の増減の状況を記載しており、全体的に増加傾向である。令和6年度は若干減少したが、今年度再び増加している。

高等部の志願見込者数の中には、先の進路希望調査で、高等学校を第1希望、県立特別支援学校を第2希望としている生徒が含まれており、例年最終的な入学者数は志願見込者数の約80%程度で推移している。また、令和7年度の高等部の第1学年の学級数については、合格者が入学した段階で確定する。

資料30-4の下段をご覧ください。盲学校の専攻科の募集定員及び志願見込者数を示している。同様の考え方で設定しており、令和6年度と比べて増減はなく、表のとおり募集定員となっている。最後に、盲学校・ろう学校の幼稚部の募集定員・志願見込者数についても昨年度と変わりはない。承認をいただいたら、関係機関に周知をしていく。以上、ご審議をお願いしたい。

#### 【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

盲学校の高等部の志願見込者数が2人となっているが、今現在は盲学校の中等部にいるのか、それとも市町の中学校にいるのか。

(近藤特別支援教育室長)

盲学校から進学される方が1名、外部から進学される方が1名の計2名である。

(飯盛(清)委員)

県内市町の中学校にも弱視の学級があると思うが、県内にどれくらいいるのか。盲学校に行く方が少ないと思い、お尋ねしたい。

(近藤特別支援教育室長)

特別支援学級の視覚障害がある児童生徒は、令和6年度は小学校で8名、中学校では4名が在籍している。

(飯盛(清)委員)

その4名のうちの1名がここに含まれているということか。残りの3名は、県立なり私立なりの高校受験する時に、校長先生などが出向いて、こういう子だから配慮をしていただくように説明しているのか。

(近藤特別支援教育室長)

そうである。事前に学校教育課から照会があるので、そこで出てくる形になる。

#### (4) 事務局報告

- ① 川崎教育総務課長は、決算特別委員会(令和5年度決算)における主な質問事項について、資料に基づき次のとおり報告した。

(川崎教育総務課長)

資料1-1をご覧ください。11月5日から11月15日まで開催された。教育関係については5項目、3名から質疑がなされた。

- ② 岡教職員課長は、令和6年度教育行政職員採用試験の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(岡教職員課長)

資料2-1をご覧ください。8月定例教育委員会では、特別枠・スポーツ特別枠と大学卒業程度の試験結果を報告したが、今回は、佐賀県人事委員会から11月13日に高校卒業程度、11月26日に民間企業等職務経験者(社会人経験枠)の合格発表があったため結果について報告する。

高校卒業程度については、1名の採用予定者数に対して4名が一次試験を受験され、最終合格者数は採用予定者数と同じ1名である。

また民間企業等職務経験者については、民間企業等で培った経験を学校経営の中で発揮し、学校教育の発展に貢献していただく人材の確保を行っていくこととしている。受験上限年齢は昨年度よりも1歳引き上げられ53歳までとなっている。2名の採用予定者数に対して49名が一次試験を受験され、最終合格者数は採用予定者数と同じ2名となっている。

このほか、障害者を対象とした選考試験を2回実施したが、最終合格者はいなかった。3回目の予定はない。教育行政職員の今年度の採用試験はこれで終了した。特別枠、スポーツ特別枠、大卒程度、社会人経験枠、高卒程度の各試験区分で合計12名の合格者を出しており、来年度の4月採用は12名となる見込みである。来年度以降も多様な人材を確保していきたいと考えている。

#### 【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

入口は色々なところから12名採用ということだが、この後の職種は一緒なのか。

(岡教職員課長)

職種は一緒である。

- ③ 岡教職員課長は、令和7年度佐賀県立学校寄宿舎指導員及び実習助手採用選考試験の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(岡教職員課長)

資料3-1をご覧ください。令和7年度佐賀県立学校寄宿舎指導員及び実習助手採用選考試験の結果について説明する。

試験の実施状況について、11月9日に教育センターで試験を実施した。試験の内容は、寄宿舎指導員・実習助手については一般・教職教養試験、専門試験、小論文試験、面接試験を実施した。

合格者数の表に示しているとおり、今回の申込者数は、寄宿舎指導員が24名、実習助手が11名、計35名の申込者であった。昨年度と比較し、16名減となっている。試験当日に2名が欠席し、受験者数は33名であった。合格者数は寄宿舎指導員2名、

実習助手が理科家庭2名、工業の機械が2名、電気系2名、建設系が1名であった。寄宿舎指導員・実習助手とも現在学校で臨時的任用として勤務している方の合格率が高かった。少子化の影響による学級数の減少や定年引上げ等もあり、今後の退職者数等の推移を見越しながら計画的に採用を行っていきたいと考えている。今後とも、優秀な教職員の確保に向けて最善を尽くしていく。

- ④ 岡教職員課長は、令和7年度佐賀公立学校教員採用選考試験（秋選考）の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

（岡教職員課長）

資料4-1をご覧ください。令和7年度佐賀公立学校教員採用選考試験（秋選考）について報告する。受験者数は80名であり、そのうち49名を合格者として12月6日に合格発表を行った。

資料4-2をご覧ください。今回の特徴については、秋選考合格者49名のうち既卒者が30名、来年卒業予定の新卒者19名であり、新卒者の割合が約38.8%だった。秋選考の合格者の平均年齢は31.7歳であった。秋選考合格者のうち、現時点の住所が佐賀県内である方が21名、県外の方が28名であった。秋選考の最終倍率は1.6倍であり、夏に実施した採用選考試験での結果も含めると最終倍率は1.9倍になる。今年度の秋選考については、中学校と高等学校の一般選考を実施し、中高で12名の合格者が出ている。1人でも多くの方に佐賀県で働いていただきたいという我々のメッセージは、ある一定の成果を得たものと考えている。

- ⑤ 山口学校教育課長は、令和6年度の佐賀県高等学校総合文化祭の結果について、次のとおり報告した。

（山口学校教育課長）

資料5-2をご覧ください。今年度の高等学校総合文化祭については、10月の定例教育委員会において開催日程を報告していた。9月14日から11月14日まで開催された。今回開催された16専門部の結果についてご報告する。この中で、音楽、吹奏楽、伝統芸能（郷土芸能・日本音楽）、吟詠剣詩舞の4つの専門部については開催のみで審査はされていない。その他12の専門部は資料のとおりである。この結果を参考に、部門ごとに選考会が行われる。そして、来年7月26日から香川県で開催される第49回全国高等学校総合文化祭香川総文2025の出場校が決定する。

- ⑥ 江口保健体育課長は、令和6年度(男子61回・女子37回)佐賀県中学校駅伝大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

（江口保健体育課長）

資料6-1をご覧ください。佐賀県中学校駅伝大会について11月8日に白石町のふくどみマイランド公園発着コースで開催された。男子の部優勝は伊万里市立啓成中学校（2大会ぶり2回目）、2位伊万里市立国見中学校、3位武雄市立武雄中学

校であった。女子の部優勝は多久市立東原厩舎中央校（3連覇）、2位伊万里市立伊万里中学校、3位武雄市立武雄中学校であった。昨年度の男子優勝は多久市立東原厩舎中央校、2位伊万里市立啓成中学校、3位唐津東中学校、女子優勝は多久市立東原厩舎中央校、2位伊万里市立啓成中学校、3位武雄市立武雄中学校であった。

- ⑦ 江口保健体育課長は、第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会について、次のとおり報告した。

（江口保健体育課長）

資料7-1をご覧いただきたい。第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会は、12月27日から1月7日までの11日間、東大阪市の花園ラグビー場において開催される。本県代表は佐賀工業高校であり、43年連続53回目の出場である。今年度はノーシードであるため、1回戦からの登場である。1回戦が12月27日金曜日14時50分キックオフ、対戦相手は愛媛県代表の松山聖陵高校となっている。2回戦につきましては、12月30日12時キックオフ、花園第1グラウンドにおいて、大阪第2代表の東海大付属仰星高校となっている。

- ⑧ 川崎教育総務課長は、次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

（川崎教育総務課長）

次回定例教育委員会は、1月30日（木曜日）14時00分から開催する予定としている。委員の出席をお願いしたい。

## （5）議事

教育長は非公開を宣言した。

### 【付第31号議案】

佐賀県いじめ問題対策委員会の臨時委員の任命について

このことについて、議案書により池田生徒支援室長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

### 【付第32号議案】

教職員の人事について

このことについて、議案書により岡教職員課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

## （6）事務局報告（非公開）

- ① 池田生徒支援室長は、県立学校におけるいじめの重大事態の発生について、資料に基づいて報告した。

## （7）閉会 14時14分

# 令和7年1月定例教育委員会資料

(令和7年1月30日)

# 教育長報告

佐賀県教育委員会



地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)  
第13条第2項の規定に基づき、下記の者を職務代理者に指名する。

記

第一職務代理者 委員 飯盛清彦

第二職務代理者 委員 加藤雅世子

令和6年12月27日

佐賀県教育委員会教育長 甲斐直美



# 令和7年1月定例教育委員会資料

(令和7年1月30日)

## 報告事項

【公 開】

佐賀県教育委員会



## 令和6年11月定例県議会における主な質問事項

会期：令和6年11月27日（水） ～ 12月17日（火） 〈21日間〉

### 【教育委員会関係】

（一般質問）

- 1 今後の少人数学級の実施について
- 2 生成AI利用の現状と今後について
- 3 学校給食について
- 4 不登校の子どもたちのための教育支援センターについて
- 5 唯一無二の誇り高い学校づくりについて

（文教厚生常任委員会）

- 1 県立盲学校・ろう学校について
- 2 高等学校入学者選抜に係る業務の簡素化について
- 3 高校の定員割れの状況について
- 4 教職員の不祥事について
- 5 グローバル人材の育成について
- 6 学校における感染症対策について
- 7 栄養教諭について



### 第32回全国中学校駅伝大会（結果）について

- 期 日 令和6年12月15日（日）
- 会 場 男子：滋賀県希望が丘文化公園 スポーツゾーン芝生ランド  
女子：滋賀県希望が丘文化公園 スポーツゾーン芝生ランド
- 出 場 校 男子 伊万里市立啓成中学校（2年ぶり2回目出場）  
女子 多久市立東原産舎中央校（3年連続4回目出場）
- 結 果 男子 伊万里市立啓成中学校 40位（1時間01分26秒）  
女子 多久市立東原産舎中央校 14位（43分59秒）  
R5 11位（44分08秒）

#### <男子>

区間	距離(km)	選手氏名 (学年)	区間記録		累計記録	
			順位	記録	順位	記録
1区	3	林田 皇晟 (3)	42	9分56秒	42	9分56秒
2区	3	土谷 健琉 (3)	48	10分26秒	46	20分22秒
3区	3	相良 斗真 (3)	39	10分10秒	45	30分32秒
4区	3	前山 壱琉 (3)	33	10分13秒	45	40分45秒
5区	3	山口 煌 (3)	42	10分40秒	45	51分25秒
6区	3	森 元太郎 (3)	22	10分01秒	40	1時間01分26秒

#### <女子>

区間	距離(km)	選手氏名 (学年)	区間記録		累計記録	
			順位	記録	順位	記録
1区	3	緒方みのり (3)	38	11分09秒	38	11分09秒
2区	2	古賀 友萌 (3)	4	6分56秒	21	18分05秒
3区	2	園田 華麗 (3)	15	7分27秒	18	25分32秒
4区	2	八島ほのか (2)	18	7分35秒	18	33分07秒
5区	3	中山侑衣菜 (2)	8	10分52秒	14	43分59秒



男子75回、女子36回全国高等学校駅伝競走大会（結果）について

- 期 日 令和6年12月22日（日）
- 会 場 男子：たけびしスタジアム京都付設駅伝コース（男子全国高校駅伝コース）  
女子：たけびしスタジアム京都付設駅伝コース（女子全国高校駅伝コース）
- 出 場 校 男子 佐賀県立鳥栖工業高等学校（15年連続49回目出場）  
女子 佐賀県立白石高等学校（2年ぶり11回目出場）
- 結 果 男子 佐賀県立鳥栖工業高等学校 7位（2時間04分55秒）  
R5 19位（2時間07分01秒）  
女子 佐賀県立白石高等学校 45位（1時間14分19秒）

<男 子>

区間	距離(km)	選手氏名 (学年)	区 間 記 録		累 計 記 録	
			順位	記 録	順位	記 録
1区	10	今村 仁 (2)	20	30分00秒	20	30分00秒
2区	3	牛嶋 勇斗 (3)	11	8分14秒	19	38分14秒
3区	8.1075	岩佐 太陽 (3)	10	24分38秒	12	1時間02分52秒
4区	8.0875	石川 蒼大 (3)	8	23分42秒	11	1時間26分34秒
5区	3	高橋 功平 (2)	7	8分54秒	8	1時間35分28秒
6区	5	下森 実直 (2)	3	14分34秒	7	1時間50分02秒
7区	5	川副 剛煌 (2)	15	14分53秒	7	2時間04分55秒

<女 子>

区間	距離(km)	選手氏名 (学年)	区 間 記 録		累 計 記 録	
			順位	記 録	順位	記 録
1区	6	光岡 琴奈 (1)	41	21分08秒	41	21分08秒
2区	4.0975	黒川 はる (3)	54	14分57秒	48	36分05秒
3区	3	前田 華歩 (3)	54	11分05秒	48	47分10秒
4区	3	岩谷 采音 (1)	36	10分11秒	49	57分21秒
5区	5	高木 咲良 (3)	24	16分58秒	45	1時間14分19秒



## 第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会（結果）について

- 期 間 令和6年12月27日（金）～令和7年1月7日（火）
- 会 場 東大阪市花園ラグビー場
- 参 加 校 51校
- 出 場 校 佐賀工業高等学校（43年連続53回目の出場）
- 成 績 2回戦敗退
  - ・ 1回戦 12月27日（金） 対 松山聖陵高校（愛媛） 29－19
  - ・ 2回戦 12月30日（月） 対 東海大学附属大阪仰星高校（大阪） 10－14

### 近年の成績

年度	回	成績	年度	回	成績
平成9年度	第77回	ベスト8	平成23年度	第91回	ベスト8
平成10年度	第78回	ベスト8	平成24年度	第92回	ベスト16
平成11年度	第79回	3位	平成25年度	第93回	ベスト16
平成12年度	第80回	2位	平成26年度	第94回	ベスト16
平成13年度	第81回	ベスト8	平成27年度	第95回	ベスト16
平成14年度	第82回	ベスト8	平成28年度	第96回	2回戦敗退
平成15年度	第83回	ベスト8	平成29年度	第97回	ベスト16
平成16年度	第84回	ベスト8	平成30年度	第98回	2回戦敗退
平成17年度	第85回	ベスト16	令和元年度	第99回	ベスト16
平成18年度	第86回	2回戦敗退	令和2年度	第100回	2回戦敗退
平成19年度	第87回	ベスト8	令和3年度	第101回	ベスト8
平成20年度	第88回	ベスト8	令和4年度	第102回	ベスト8
平成21年度	第89回	ベスト16	令和5年度	第103回	3位
平成22年度	第90回	2回戦敗退			